

## 自由記述

問27 差別を受けたと感じたとき、どうしましたか。また、改善に向けた提案など

回答数 477件

### 【主な記述・意見】

○あきらめた、がまんした、泣き寝入り 145件

○相談した（上司、同僚、同障者、親、友人、支援機関など）45件

- ・苦情を言ったが、あきらめざるをえなかった。出来ないことを要求された。本人が努力して出来るようになることと、努力しても出来ないことを会社側が識別してほしい。（男、40代、精神障害）
- ・あきらめざるを得なかった。企業の人達は障害についてもっと勉強してほしい。（女、30代、知的障害）
- ・他の人に相談したが問題は解決されなかった。（男、40代、精神障害）
- ・上司とふたりで相談し、別の部署に替えてもらった。結果、環境が改善された。（女、40代、盲ろう）

### 【その他の具体的な記述】

- ・面接のさい、精神科に通っていると言っただけで不採用となった。（女、40代、精神障害）（男、30代、精神障害）（男、20代、精神障害）
- ・病気であるとわかったら、仕事をやめさせられ、辛かった。（女、40代、精神障害）（男、20代、精神障害）（男、30代、精神障害）
- ・採用時、「視力がもっとあったら良かったのに。」と言われた。（男、50代、盲ろう）
- ・面接の時「もう少し見えていたらねえ」って一言で終わった。（女、50代、視覚障害）
- ・会議等で情報保障がなく、自分のことが話し合われている中で反論もできずに、責任を押し付けられたこともある。ミーティング、会議等で情報保障が必要である。（男、50代、聴覚障害）
- ・聴覚障害者本人が参加する会議には公的な手話通訳派遣を認めるべき。（男、40代、聴覚障害）
- ・社員として、職場研修のとき、手話通訳者を呼んでもらいたいとお願いしたが会社に拒否された。（男、60代、聴覚障害）
- ・障害者手帳がないため、十分な支援が受けられなかった。法制度がそうなので仕方ないと思った。他の人に相談したりもしたが、難病者も障害者と同じ支援が受けられるよう

- にしてもらいたい。(男、40代、聴覚障害・難病)
- ・難病だとつげると面接すらうけさせてくれない。かといって障害手帳もとれない。難病等にも対応した障害認定項目を整備する。(男、30代、難病)
  - ・募集要件に「健康」があげられるのは差別だと思う。同じ病気をもつ人たちに相談しても改善につながらないのであきらめている。会社へ直接うったえても聞き入れてもらえないので後ろ盾になる法律として差別禁止法の制定を望む。(女、30代、内部障害)
  - ・最初から「出来ないだろう、ムリだろう」という思いが先方にある限り、この問題はクリアされないだろう。見た目の障害だけで判断せず、まずは短期間でもいいから能力を見て欲しい。そのためにも研修や実習などきちんとした対応をして欲しい。(女、30代、視覚障害)
  - ・差別を受けた時はあきらめました。その後、シンポジウム、講演等に精神障害者として参加する(パネリスト、講演者として)機会があり、一般市民の方々に理解して頂けることも多くなりました。精神障害に関する事は、当事者が前面に出てうたえていく事が必要であると考えます。(女、40代、精神障害)
  - ・信頼のある人達に苦情を伝えた。又、他人に相談しながら、解決策を考えたりした。改善方法は、チームワークでうまくいくにはどうするかと上司とコミュニケーションを図る必要があるかと思えます。(女、20代、視覚障害・聴覚障害)
  - ・国の方針を見ていると軽度の人に対する支援策が無いように思われる。軽度の障害者は仕事ができるものと理解されているが、会社(企業)が苦しくなると一番に首になる障害者の対策がまったくなされていない。国の方針により市・町・村が国の方針にしか力を借してかしてくれないので中軽度の人達は就労に苦勞している。(男、70代、視覚障害・肢体不自由)
  - ・雇用先の清掃会社がメンテナンス業務を請負っている県の福祉関係出先機関に現状を訴え、両者間で対応策を話し合ってもらった。その結果対応の改善が図られた。(男、30代、発達障害)
  - ・一般企業にも作業療法士など障害者の職業能力を公平に判断する者の存在が不可欠と感じた。(男、40代、肢体不自由)
  - ・精神障害者の方々と共に働くとき、細やかな配慮が必要である。会社側に競争原理を求めめるのではなく、協調性を重視してもらえたなら、精神障害者の方々も随分と働きやすくなると思う。(男、40代、精神障害)
  - ・仕事を探している時、「働く事は甘くない」「かんたんに働くなんてできない」と、ハローワークの担当者に言われた時、別に自分は、甘くもかんたんにも考えていないし、そんな事を言ったおぼえもない。明らかに“障害者=仕事ができない”という考えの表れである。(男、30代、肢体不自由)

- ・職業センターのカウンセラーに電話をして、部長にしょく場にきてもらって、会社に言ってもらった。こまったときに相談ができるジョブコーチの人がいれば障害があってもきちんとはたらけると思う。(女、40代、知的障害)
- ・聞こえがひどくなったら、役割から遠ざけられた。聞こえの障害により、仕事の面での参加の機会、昇進のチャンスが減った。能力があるから聞こえをカバーしようという動きはなかったし、こちらもしなかった。(男、50代、聴覚障害)
- ・現場の人だけでなく、事業所のトップの人、人事の人に、障害のある人が働いている姿や環境を実際に見てもらふ機会を多くする。雇用の理解、拡大に向け、理論だけでなく、体験、実践を通して身をもって認識を深めてもらう。(女、30代、知的障害・発達障害)

問58 職場の上司や同僚などから配慮されていると思うことは、具体的にどんなことですか

回答数 489件

#### 【勤務日、勤務時間の配慮】

- ・病気の性質上、朝起きれなかったり、早退することもあるのだが、非難されず、そのことが結果的に自分の体調もよくすることにつながっているので有難い。(男、40代、精神障害)
- ・一日の勤務は長時間ですが、体調を気使い、休けいをすすめて下さる。(女、40代、内部障害)
- ・体調不良の場合(障害による)でも休みやすい(男、30代、肢体不自由)
- ・通勤の便が悪いので勤務時間に配慮してもらっています。(女、50代、視覚障害)
- ・膀胱直腸障害のためトイレの時間。(男、40代、肢体不自由)
- ・難病であることを伝え、働く時間、休みを調整してもらっている。(男、30代、難病)

#### 【適切な作業内容、作業分担の配慮】

- ・視力を必要とされる事務作業をしいられることはない。(男、60代、視覚障害)
- ・自分のやれそうな仕事をやらせてくれる。仲間に教える事もやらせてくれる。(女、40代、肢体不自由・知的障害)
- ・体調により、仕事量を考えてくれる。(男、30代、精神障害)
- ・足の指が無いので不安定な立ち仕事はしないようにしてくれる。(男、50代、肢体不自由)
- ・打合せや電話など、コミュニケーションをそれ程必要としない業務内容(男、50代、聴覚障害)

#### 【情報保障、コミュニケーション支援】

- ・点字資料の配布(男、30代、視覚障害)
- ・プリント類などを拡大してもらえる。(男、60代、視覚障害)
- ・会議資料などをあらかじめ配布してもらふことができる。(女、30代、視覚障害)
- ・書類の読み書きを代わりにやってもらったり、私にも扱いやすい形(データ)に変換または

記入しやすい書式への置き換えなどしてもらっている。事務用品の置き場所を定めたり、シール紙のシートの向きなどが私にも判別しやすいよう配慮してもらっている。室内の物を移動させた時や、退勤時の消灯などの報告や確認を意識的にしてもらっている。(女、30代、視覚障害)

- ・作業や会議で手話通訳をしてくれる人が配置される。(男、30代、視覚障害・聴覚障害)
- ・耳がきこえないことを理解して筆談やメールしてくれる。(男、30代、聴覚障害)
- ・電話がききとれない時、代わってくれる。わかりやすい話し方をしてくれる。(女、40代、聴覚障害)
- ・パソコンの周辺機器、拡大読書機、音声拡大用の電話などの設置。通訳介助サポートを専門とする職員の配置。(男、40代、視覚障害・聴覚障害)
- ・文字盤などでの意志を確認してくれること (女、30代、肢体不自由・知的障害)

#### 【相談、人間関係の配慮】

- ・悩むときは、みんなが、かえったあと、はなしを、きいてくれる。(男、30代、知的障害)
- ・細かなことで仕事面での改善点を相談すると、何らかの対策を講じてもらえる。(女、30代、視覚障害)
- ・話がある時にいつでもすぐ親和な応待で相談に乗ってくれる。同僚の一人一人が人間関係を良いものにしようと心がけている。(男、30代、精神障害)

#### 【介助、手助けが得られる】

- ・重い荷物を運ぶ時や、体を使って作業する場合など、「おねがいします」と言うと、いやがられずにやってくれます。(女、30代、肢体不自由)
- ・手びきをしてもらう。見にくい事をてつだってもらう。(女、50代、視覚障害)

#### 【仕事の説明、指示のときの配慮】

- ・作業の手順・内容について絵・文字などで理解できるように繰り返し説明してくれる。(男、40代、知的障害)
- ・仕事上、まわりの状況をよく説明してくれる。(女、40代、盲ろう)

#### 【職場の物理的環境の配慮】

- ・聞こえる静かな環境を用意してくれる。(男、50代、聴覚障害)
- ・職場の自分の机を、車椅子で使いやすいものに変更してもらった。普段の居場所を1階にもらった。(男、40代、肢体不自由)
- ・机、OA機器、ロッカー等の配置が、車イスでも使用しやすく、通路の広さも確保されている。(女、50代、肢体不自由)
- ・視覚障害の為下に物を置かない、細かい事を伝えてくれるなど。車イスでも、行動できるよう、十分なスペースが確保されている事 (女、30代、視覚障害・肢体不自由・難病)

#### 【通院、服薬等の配慮】

- ・仕事のローテーションを透析日以外で組んでもらっている。(男、50代、内部障害)

- ・通院する時に仕事を休める（女、30代、精神障害）

#### 【通勤、移動に関する配慮】

- ・出張の際の移動（誘導や車の運転が可能な人と組む事ができる。）。（男、20代、視覚障害）
- ・自家用車の通勤は不可であったのを許可してくれた点があるから。（男、50代、肢体不自由）
- ・とおくに、いくときは、まよわないように、してくれる。（男、30代、知的障害）

#### 【仕事の進め方、ペースに関する配慮、休憩】

- ・体調が悪い時など横になれる（男、50代、肢体不自由）
- ・調子の悪い時など、仕事の手をとめて休ませてくれる。（女、30代、精神障害）
- ・自分のペースに合わせてくれる。（男、10代、知的障害・発達障害）
- ・無理は強いられない。出来る可能性のある事は、時間がかかってもさせてくれる。（女、30代、視覚障害）

#### 【区別・差別されない、特別扱いされない】

- ・みんなと変わらない接し方。自分をバカにしない（女、30代、知的障害）（男、30代、知的障害）
- ・障害があってもかわりなくはなしをしてくれる。（男、20代、精神障害）
- ・ケガをする前からの職場に復帰したのですが、何もかわらず自然に復帰でき、特別あつかいをされていると感じたことがない。（女、30代、肢体不自由）
- ・健常者と同じ取扱い（男、60代、聴覚障害）

問59 職場の上司や同僚などから配慮されていないと思うことは、具体的にどんなことですか  
回答数 72件

#### 【主な記述・意見】

- コミュニケーションや情報提供がない（聴覚障害） 17件
- 障害を理解してもらえない 10件

- ・耳の障害なので、回覧やメールを多用して欲しいと伝えてあるが、反応はあまりない。たまにメモがまわってくる程度、情報がなければ動けない。（男、30代、聴覚障害）
- ・耳が聞こえないので後ろから大声で呼んでも分からない。振り向く事が出来ないので無視するなどと怒られる。相手の話は口語（読話）で口びるの動きを読み取るが手作業の場合は、相手の口を見ている間は手が止まるので、仕事しろと注意される。大事な事はメモ書きにしてほしいと申しても、商品に紙切れが入ったり、ペンが入ったりなどあったら不注意の元なので使えない。私に話しがある時は、前に出るか、肩をたたいてほしいと言ってもなかなかうまくいかない。まだまだあるがキリがない。あきらめに似た心情。（女、50代、聴覚障害）
- ・視力の差を理解してもらっていない（男、60代、視覚障害・内部障害）
- ・弱視なので「見えている」と思われていて「見えにくい」ことの理解がむずかしい。殆どが

健康な方なので少し輪の中にとけこめない。(女、40代、視覚障害)

- ・ある程度、決められた時間に服薬しなければならないのだが、仕事が繁忙な時など、抜けられない時がある。また、周囲の人事異動の時に、上の事がうまく伝わっていないのか、その都度、説明しなおさねばならず、煩しい。(男、30代、肢体不自由)
- ・障害により、体温調節ができないと言っているのに、その配慮がなく、クーラーをつけると、コンセントをぬかれてしまう。(男、40代、肢体不自由)
- ・職員さんの暴力や暴言 (男、30代、精神障害) (男、40代、精神障害)
- ・障害が重いので話 (自分の) が通じないでほっとかれることがある (女、30代、知的障害)

### 【その他の具体的な記述】

- ・障害よりもまず、この業務を時間内に正確に終われるかが、興味あり。障害はどうでもよい。(男、20代、精神障害)
- ・仕事を行なう以上は、障害があろうが、なかろうが、この今の仕事をきちんと行なう必要があるので、体調をくずしたり、具合が悪かったりではダメで、社会の底辺ではそれらの配慮があるワケが無い、現社会はきびしいです。(男、40代、内部障害・難病)

問63 働く上で困った時に相談した結果どうでしたか。よかったこと、解決したこと、しなかったこと、改善に向けた提案など

回答数 343件

### 【主な記述・意見】

- 相談してよかった、解決した、改善された 180件
- 相談することで気持ちが楽になった 37件
- 変わらなかった、がまんした 58件

- ・妻に相談、なやみごとなど理解してくれて、アドバイスを得る。気持も楽になり、明日から又働く意欲が出る。(男、60代、肢体不自由)
- ・できない仕事はできないとはっきり言うようにした。(男、30代、肢体不自由・精神障害)
- ・本人に問題があり、解雇される状況になった時、職業センター・企業・家族、3者が数回話し合いなどもっていただきました。相談機関に入っていたらかなったら、継続は不可能でした。感謝しています。(男、30代、知的障害)
- ・作業所で、男性にセクハラを受けたことが、解決した。異性とのきよりのとり方がわからないときが、ときどきあって、職員さんに、よく相談する。よく、話をきいてくださって、たすかっている。(女、40代、精神障害)
- ・研修や大規模な会議の時に申請したら通訳がつくようになった。(女、30代、聴覚障害)

- ・職場のパソコン画面音声化ソフトを入れてもらった。音声パソコンでも記入しやすい様式を作ってもらった。音声対応しきれないシステムを導入しているものもあり、それは、職場だけでは解決できない問題の為、改善されていない。同じ障害を持つ同僚に仕事の不安を話すことで、気持ちが安定する事がある。(男、20代、視覚障害)
- ・施設の職員がジョブコーチ的役割で付き添ってくれたこと。応援してくれる人がいると会社にとけこみやすくなる。(男、30代、知的障害)
- ・全く何の解決はなかった。親身、又は相手の立場になって考える。その様な姿勢はどこにも感じた事がない。(男、60代、肢体不自由)
- ・結果的に自分で行動する事しかなかった。転職です。(男、50代、視覚障害)
- ・ただのぐちにしかならない。解決はしないと思う。今の社会の底辺はきびしいです。仕事があるだけでマシ。がまんも必要と思う。これらの制度作りは行政に行なってもらいたいです。(男、40代、内部障害・難病)
- ・グチを言ってストレス発散で終わってしまいました。改善までしなかったです。(男、30代、聴覚障害)

#### 【その他の具体的な記述】

- ・環境整備は、組合交渉で統一している。(男、50代、聴覚障害)
- ・自身で何とかするしかなかったので、あの手この手で、自分でたつた。相談したことがなく、インフラ含めて何の受け皿もない。自身で勝ち取った。(男、30代、視覚障害・精神障害・その他)
- ・自分の悪い所(家の者にも注意され、自分でも分っている。)を直す為、声かけを頼んで頂いている。(男、30代、知的障害)

#### 【その他の具体的な提案】

- ・より多くの方に、自分の状態、生活の状況をお聞き頂いたらよい、多くの知恵をお借りした方がよいと思う。(男、40代、視覚障害・肢体不自由)
- ・親本人と事業所直結の関係でなく、支援機関が仲介してクッションになり、即決でなく様子をみようという緩和剤になり、ありがたく思った。アフターフォロー対象者の拡大に向け、常時在勤の限られた職員の補充体制の検討を。(女、30代、知的障害・発達障害)
- ・制度上、難病は就業につくのが難しく、相談はしても制度が変わらないので解決しなかった。制度を変えるしかないと思う。(男、30代、難病)
- ・上司に、仕事が向いていないような気がするから、やめたいといったところ、ひきとどめてくれた。理解のある上司だったと思う。今民間は厳しいから、法整備に期待する、罰則などのある法制が良いと思う。(女、30代、精神障害)
- ・肢体不自由なので、職場でよく転倒した、指導員が補助具(杖)をすすめてくれて、それを使うようになって少しよくなった。(男、30代、肢体不自由)
- ・以前、私の場合握力がないので入口のドアノブを回す事が出来なかったので自分でドアノブを回す自助具を見つけ、何ヶ所かのドアに取り付け、自分で出入り出来る様にした事がある。

(男、50代、肢体不自由)

**問64 障害がある人が働きやすくなるための提案を含め、これまでにあなた自身が努力や工夫をされたこと**

回答数 496件

**【人間関係、職場の理解】**

- ・ 経営者、同僚の（病気・障害の）理解を得ることがまずは1番だと思います。私は、自分の症状を重くならないよう、軽い！？わかりやすい感じで説明しました。(女、30代、難病)
- ・ 職場での日常係わることの多い人達とのコミュニケーションを計り、円滑な人間関係を築いて行くことが大切。まず身近な人達の理解が計られる様努めるべきと思う。(男、60代、視覚障害)
- ・ 障害（知的）を持つ本人がコミュニケーションを持つ事が苦手なため、本人に変わって職場での人間関係維持を保護者から働きかけている。(男、30代、発達障害)
- ・ 会社の人たちに、障害の事を分かってもらえるようなセミナーが必要。(男、30代、聴覚障害)

**【バリアフリー】**

- ・ 車椅子で働くために、職場のバリアフリー化、(トイレ、駐車場など) のアドバイス。通勤の問題。(男、40代、肢体不自由) (女、50代、肢体不自由)
- ・ 年一回、ハローワークが主催する企業集団面接に参加をするのですが、数多くの会社が障害者を受け入れたいと言う気持ちがあると思います。しかし、その社員の気持ちがあっても、その会社の施設がバリアフリーが整っていない為、何回か断念しました。まずは、施設を整えてから、このような企業集団（会社側）に加入してほしいと思います。(男、30代、肢体不自由)
- ・ 車イスで仕事する時、なるべく手の届く高さに書類を置いてもらい、手が届かない所は、遠慮なく、頼んで取ってもらう。(男、50代、肢体不自由)

**【コミュニケーション保障、情報機器】**

- ・ 聴覚障害者は情報障害者。コミュニケーションの音、環境音、警報等がわかるような工夫が必要。さらに、こうした工夫について、本人も充分理解できていない。本人が納得できるカリキュラム、ガイドラインも国として作る必要がある。障害者のハンディをきちんと理解し、コミュニケーション等に配慮があれば（バリアフリー、ユニバーサルデザイン、手話通訳制度の充実等）、聴覚障害者でも、様々な職に就けると思う。(男、40代、聴覚障害)(男、50代、聴覚障害)
- ・ 難聴者へのわかりやすい話し方を説明した。電話機を声が大きくなるものに変えた。(女、40代、聴覚障害)
- ・ パソコン等機器の活用。(男、50代、視覚障害)



### 【ジョブコーチ、アシスタント】

- ・障害者のいる職場には、障害者がはたらく上で相談にのってくれる、ジョブコーチの人がついてあげないと、むだん欠席をした時に、上司の人から障害があるから、やといたくなかったのにと、話しがでてくる。(女、40代、知的障害)
- ・会社の中に自分を理解し援助（支援）をしてくれる社員が必要です（女、40代、知的障害）

### 【「障害」のとらえ方】

- ・健常者と同じように働こうと頑張らない。自分のペースを知る（女、30代、肢体不自由）
- ・障害はかくさず、ありのままを話し、周りの理解を得ることは大切。できないことは無理せず“できない”と申し出る。(女、30代、肢体不自由)
- ・障害者だからと言って甘えない。出来る事は積極的にすすんでやる。(男、50代、肢体不自由)
- ・回りの人たちと自分から仲良く接し、かつ仕事もふつうの人と同じにやれるくらいの気持が必要。負けない事です。(女、50代、肢体不自由)
- ・障害者「だから」できることと、できないことを客観的に見つめなおすことで、自分の立場や今後の目標が持てたように思う。(女、30代、視覚障害)

### 【法制度について】

- ・法的に雇用を充実するためには、障害別に定めて欲しい。視覚障害、聴覚障害、肢体障害それぞれ特性がある。各々に対応した、制度を設定して欲しい。(男、70代、視覚障害)
- ・難病等において、障害と同程度職業上の制限が認められたら、障害者法定雇用率、特定就業者雇用開発助成金の対象とすること。(男、30代、難病)

### 【その他の意見】

- ・私は、自分にできる事できない事を上司に伝え、上司から仲間に声掛けやサポートをしてもらえるようお願いしました。障害についてくわしい障害当事者スタッフ（アドバイザー）が窓口となり、就職をする際の相談に応じ、企業との仲介役をし、より働きやすい環境をつくっていく事と、その障害当事者スタッフをサポートするシステムも大切だと思う。システムが整えば、同じスタートラインにたてる。障害のある人が責任とポリシーを持って、1人の社会人としての認識を高めるプログラムやカウンセリングが必要だ。(女、30代、視覚障害・肢体不自由・難病)
- ・仕事を継続して行く為に一番必要な事は、その人のもつ障害について理解された環境で仕事を出来るかだと思う。しかし、障害を申告しての求職活動は、きわめて困難な状況だと思う。行政機関には、もっと積極的に現実的な取り組みをして頂きたい。企業側がもっと障害を理解してくれるような体制をつくってもらいたい。就職した時、いつも病気をクローズにしていたことで、仕事が長続きしなかったので、オープンにして働けるような企業が増えていくことを望んでおります。(男、30代、精神障害) (男、40代、精神障害)
- ・自閉・てんかんがあるため長時間の就職はむりなので、短時間働ける一般の会社があれば働いてみたい。(男、20代、知的障害)
- ・ひとりで通勤していた時は、信号を渡る時やバスに乗る時に墨字で見えない聞こえない事を

書いたカードを持って援助を求めたが、周囲の人はちゃんとカードを読まずに声で話したり、夜おそくになると援助が得られなかったこともあった。アシスタント制度を盲ろう者にも使える形にして欲しい。仕事をしながらいろんな活動に参加するために、通訳ガイドの利用時間を増やして欲しい。どうしても通勤できない盲ろう者にもメールなどを利用した在宅勤務も出来る様にして欲しい。メール、インターネットを使えば実現できる仕事はいくつかあると思う。点訳などは家でも出来ると思う。(男、40代、盲ろう)

- ・パソコンなど新しい機器に関して勉強でき、購入しやすいような方法をとることによって、障害者の働く場所、職業の質や範囲が広がると思う。また、情報が、障害者に伝わる様にしてほしい。働ける人が情報がなく、埋もれているように思う。(男、40代、視覚障害)
- ・視覚障害者にとっては、あんま、はり、きゅうが最適な職業ですので、視覚障害者の職業的自立のために、国家的は保護支援をして欲しい。(男、60代、視覚障害)

## 問80 一度仕事をやめた人が再び働くことができるよう、提案など

回答数 122件

### 【主な記述・意見】

- 労働条件（就業時間・収入面）など環境の整備 25件
- 職業訓練などサポートの体制を増やす 18件

- ・労働条件雇用条件の柔軟性、情報提供のバリアフリー化（女、60代、視覚障害・聴覚障害・盲ろう・難病）
- ・精神の病気なので、体調に波があり、働く場所での理解者がいないと、続けて働くことができないので、病気を理解してくれる会社があればよいです。(男、30代、精神障害)
- ・精神障害の場合、フルタイムで働くのが困難であり、パートタイムがやっとである。しかし近時のパートタイムは雇用形態がそうになっているだけで、現実にはフルタイムの勤務となっている場合が多く、とても応募できない。週3日ぐらいのパートがよいのだが、それでもさらに問題がある。症状に不規則な波があるので、例えば月、水、金と曜日を決められてしまうと、その曜日に体調がよいとは限らない。従って在宅勤務等を大幅に認めてほしい。(男、30代、精神障害)
- ・職務経験や資格を認め、障害だけで判断しないこと。又、障害者だからという見方ではなく同じ人間として、一人の働き手、納税者として、他の人と同じように対応してほしい。アメリカのADL法を見習った国・社会をつくって欲しい。障害ゆえに出来ない事だけを見るのではなく、サポートすることで出来る事をきちんと見きわめた対応を考えて欲しい。(女、30代、視覚障害)
- ・情報提供の拡大。仕事をする為の職業訓練センターを増やす。(女、30代、肢体不自由)
- ・求職活動中（再就職）のやる気を保つためのケアがほしい。(男、40代、精神障害)

### 【その他の具体的な記述】

- ・聞こえにくい人への情報保障を確実にしてほしい。例えば補聴器、人工内耳使用者のため磁気ループ設備の導入、職場内アナウンスの電光文字表示設備の導入（男、60代、聴覚障害）
- ・ 1. 自宅から職場までライフラインがスムーズであるようにする。 2. 程度に応じて少し上級の内容の仕事で、満足感を与える。 3. 生活保護、障害者年金よりは賃金（交通費を除いて）が多くなるよう給料をもらいたい。（男、50代、肢体不自由）

### 問94 困ったことや悩みを解決するために希望すること

回答数 7件

### 【記述、意見】

- ・ 24時間体制をして下さい。兄貴が亡くなった時の保障、自宅作って下さい。精神病院入院すると悪化する。（男、50代、精神障害）
- ・ 介護の手が足りず、十分な介護受けられない。指導員の人数を増やすべきである。（男、40代、知的障害）
- ・ 服薬で体がきつい。一日活動するエネルギーがない。すぐ疲れるので一人まへの生活が出来ない。（女、30代、精神障害）
- ・ 生活ヒ（男、50代、肢体不自由）
- ・ 障害に対する理解と、その理解にとどまらず、様々な問題に対して、実際に整備を実行して環境を改善して行ってほしい！！（男、50代、肢体不自由）
- ・ 自分の年齢と共に妻も病気がちで頼ることが難しい。身内でも介護は頼めない、かえって他人様にお金で見てもらおうほうがと思う（ホームヘルパー）でも他人に家の中のことはしてもらいたくない。だが家が一番良い。（男、70代、肢体不自由）
- ・ 障害程度の重い人には、どんな支援が必要か、大変なところには手をつけない。無かんしんをよそおっている、国の福祉行政のあり方に問題がある。結局、家族の負担になる。無言の押しつけ。日本の社会は表面的には少しずつは変わってきたが、障害者を受け入れるにはほど遠い。（男、30代、精神障害）

### 問95 いままでに働いたことがない人がこれから働くことができるようにするための提案など

回答数 69件

## 【主な記述・意見】

○障害種別に応じた勤務形態・労働条件の整備 19件

○職業訓練の場・サポートする人が必要 14件

- ・その人にあった仕事の数がかぎられて、勤務先など労働条件などであっても働けないことがあるので、数が増えること希望します。(男、50代、精神障害)
- ・何か身につけるために時間や費用がかかります。それらの費用がなく重度の障害者を受け入れる職場は地域にはありません。自宅でパソコンを使つての仕事が見つかりません。生活するだけでいっぱいです。収入を得たいのですが難しい。ただ何かをやりたいと思っています。(男、20代、肢体不自由)
- ・働けるような職場開拓が必要。特に障害の程度に応じた職場や基本的訓練を身につけさせる。(男、40代、知的障害)
- ・重度の自閉的なところがある知的障害者が学校を出て働くといっても授産施設しかありませんでした。今迄そこで10年余り作業を通して、そこで働くという意識づけをして毎日すごしています。今更働くことを…といわれても我家には全く関係のないこととしか思えません。知的障害者のみ対象のアンケートではないことは理解していますが多くの設問に答えられなかったことをお許し下さい。(女、30代、知的障害)
- ・現在の社会では就労は無理な障害程度ですが、通所授産所での作業はたのしんでがんばっているようです。施設の職員の方たちもがんばってくれていますが、賃金は微々たるものです(2000~3000円、月~金作業で)。せめて自己負担金が自分の賃金で払える位なければ働いているとは言えないと思います。そんな社会になれるよう切望しています。(男、40代、知的障害)
- ・1. 職業訓練所の設置 2. ビジネスマナー・しつけの教育 3. 健常者とのソーシャルファームの育成 (男、40代、視覚障害)
- ・交通機関と働き先のバリアフリー化、受入体制が障害者に対する知識を持っていただきたい。(女、40代、言語障害・肢体不自由) (男、60代、聴覚障害・肢体不自由) (男、30代、肢体不自由) (女、50代、肢体不自由)
- ・盲ろう者の適性に合った職業能力開発・盲ろう者の職業訓練のための通訳・介助サポート体制の充実・盲ろう者ナショナルセンター→ここで習得した職能を地元に戻って就労につなげていけるシステムづくり。(男、40代、視覚障害・聴覚障害)